

統計スポット情報

No. 76

15.7.31

福井県総務部情報政策課

最近の労働時間と給与の推移について

長引く不況の中、県内の労働者の労働時間および給与について、どのような変化が現れているのかを、平成14年毎月勤労統計調査地方調査結果からみていきましょう。

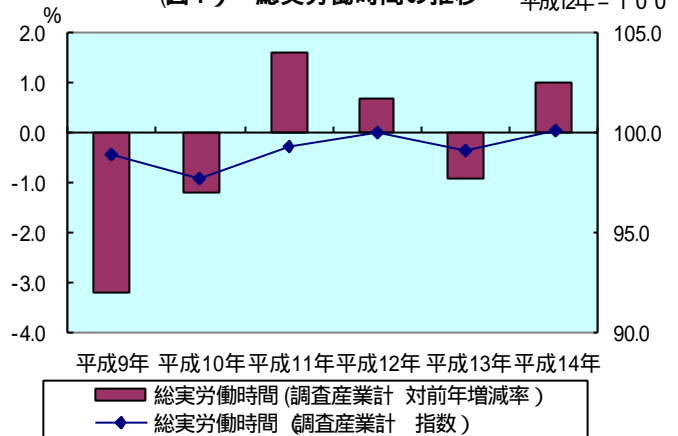
この調査の対象は、常用労働者を常時5人以上雇用する事業所です。

総実労働時間は前年比1.0%増加

総実労働時間は、平成11年、12年と増加していましたが、平成13年は減少に転じました。しかし、平成14年は再び増加しています。平成14年の一人平均月間総実労働時間は、159.1時間で対前年比1.0%増となりました。(図1)

(図1) 総実労働時間の推移

平成12年=100



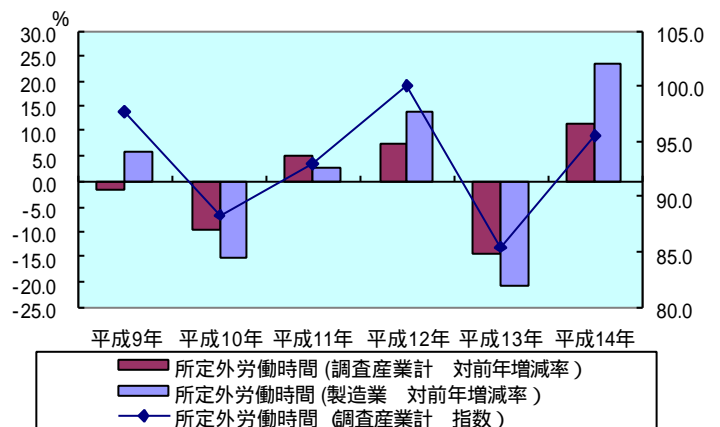
所定外労働時間は前年比11.7%増加

所定外労働時間も、総実労働時間と同じように平成11年、12年と増加していましたが、平成13年は減少しました。しかし、平成14年は再び増加しています。平成14年の一人平均月間所定外労働時間は8.4時間で、対前年比11.7%増となりました。

特に景気の動向と関係の深い製造業の平成14年の一人平均月間所定外労働時間は、9.6時間で、対前年比23.7%増となっています。(図2)

(図2) 所定外労働時間の推移

平成12年=100



現金給与総額は前年比1.0%減少

平成14年の一人平均月間現金給与総額は、315,499円で前年比1.0%減でした。

現金給与総額のうち、きまって支給する給与は261,361円で、前年に比べ1.8%増となりましたが、(図3)特別に支払われた給与は54,138円で、前年に比べ12.2%減となりました。

(図3) 現金給与額の推移

平成12年=100

